

令和6年度 第2回印西市健康づくり推進協議会 会議録

1. 開催日時 令和6年10月17日（木） 午後2時から
2. 開催場所 印西市役所 別館 農業委員会会議室
3. 出席委員 岩谷委員、堀江委員、石橋委員、萬谷委員、鈴木委員
及川委員、渡辺委員、高橋委員、本間委員、安松委員
秋本委員、井ノ口委員
4. 欠席委員 河北委員、東本委員
5. 事務局 田口健康子ども部長、【健康増進課】金森健康増進課長、木村健康政策係長、
斎藤健康支援係長、川村感染症予防係長、日野原主任保健師、星野栄養士、石
井主事【子ども家庭課】坂本子ども家庭課長、小野田子ども包括支援係長、酒
井母子保健係長、海老原主任歯科衛生士
6. 傍聴者 0名
7. 議 事 議題
(1) 議案第1号
「第3次健康いんざい21」の素案について
(2) 議案第2号
「第2次健康いんざい21」の進捗状況について
(3) 議案第3号
「いのち支えあういんざい自殺対策計画」の進捗状況について
(4) 議案第4号
「第2次印西市自殺対策計画」策定基本方針について

8. 議事録 (要点)

議題(1) 議案第1号 「第3次健康いんざい21」素案について

(事務局): 「議案第1号 第3次健康いんざい21」素案について」資料に基づき説明。

※その後、事前質問について説明、回答

- ① 2頁(質問)「この健康日本21(第三次)では、以下のとおり、新たな健康課題や社会背景、国際的な潮流等を踏まえ、取り組んでいくことが必要としています。」とあります。細かいことで申し訳ありませんが、文章を読んでいて違和感がありました。この「が」は「を」になるか、「必要としています」より「必要です」という標記の方が文章として分かりやすいように思いました。

(回答) ご指摘ありがとうございます。事務局にて検討させていただきます。

- ② 10頁(質問) 句読点がなく、読みづらいところがありました。2段落目の「また」の句読点後、最後まで一つも句読点がないので、出来れば、「水辺環境により」の後に句読点を入れていただけたらと思います。

(回答) ご指摘ありがとうございます。事務局にて検討させていただきます。

- ③ 13頁(質問)本市の平均寿命及び平均自立期間ともに千葉県を上回って推移しています。これは、今までの健康づくりの取り組みの成果と考えられますが、具体的な取り組みがありましたら教えていただきたいと思います。

(回答)健康や食に関する出前講座・ちょきん運動等で講話を行うことにより、対象者が実践に結び付くよう意識付け、そこで学んだ知識を家族や周りの方に広めてもらうため健康づくりサポーターカードを配布しています。

また、ヘルスアップ教室で継続的に運動を行う習慣をつけることで、体力年齢、筋肉率等が上がり、健康への意識付けを行っています。

市ではその他にも様々な取り組みを行っており、5年10年のこれらの取り組みの成果が表れていると考えられます。

- ④ 17頁(質問)「大腸がん、乳がん、前立腺がん検診は横ばい…」とありますが、グラフを見ると大腸がんではなくて、胃がんが横ばいなのではないかと思いましたが、いかがでしょうか？

(回答)申し訳ございません、ご指摘のとおり胃がん検診が横ばいになります。その他の検診を含め、次のように修正させていただきます。「本市のがん部位別検診受診率は、肺がん・結核、大腸がん検診で減少傾向ですが、胃がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん検診は横ばい傾向となっています」。

- ⑤ 56頁(質問)「基本方針3ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」もここに入っても良いのではと感じました。世代ごとに生活環境の変化から心のバランスが崩れたり、睡眠の質と量も世代ごとに違うので、施策に睡眠が入るのであれば、その観点からの取り組みがあっても良いのではと感じました。基本方針3が入らなかった理由等あればお聞かせください。

(回答) ご指摘ありがとうございます。今回の計画策定においては、すべての分野において年齢ごとの主な対象者を設定しております。その中で特に年齢ごとに多様な取り組みが求められると思われるものについて対応する基本方針にあげているところでございます。今後の対応については事務局にて検討させていただきます。

- ⑥ 65頁(質問)「データ元 39歳以下・特定健康診査」となっている項目があります。一方で、「データ元 市民アンケート」となっている箇所もあるので(この市民アンケートはどういった形で行うものなのでしょうか?)、39歳以下の健診受診率を考えると、今後のより実情に近いデータを取得するためにも全市民に近い形で、市民アンケートに統一することはできないのでしょうか？

例えば、今後の方法として、広報に二次元バーコードをつけて、気楽に回答してもらえようにするとか…その仕組みを作るのに費用は掛かるかと思いますが…。

(回答) まず、市民アンケートにつきましては、昨年度、令和5年度の会議でご説明をさせていただきましたアンケートでございまして、この第3次健康いんざい21策定のため、令和5年度に実施しております。方法としては、無作為で抽出した市民約6,000名の方に郵送などでお知らせし、WEB回答または紙による回答を願いましたものです。

また、データ元をこのアンケートに統一しない理由ですが、アンケートを毎年度実施する場合には従来以上の予算がかかってしまう点と、アンケートの特性としまして、興味がある方の回答率が高く、回答に偏りが生じてしまうことがございます。このようなことから、問診票がデータ元として使用できる場合は、データ元として使用していきたいと考えております。

- ⑦ 67頁と68頁(質問) P68(6) 市民と地域の取り組みでは、妊産婦に対して、禁煙、受動喫煙防止と適正な飲酒、双方に市民、地域の取り組みがある。P67(5) 具体的な取り組みでは、妊産期の対象者に「妊婦や乳幼児の保護者への周知」を取り組むとあるが、適正な飲酒については、妊産婦に対して周知がないのはなぜか。

(回答) 母子健康手帳交付時に、妊娠届出と同時に記載する調査項目で飲酒がある場合に個別指導を行い、全員へ資料配布で周知しております。また、プレマクラスで胎児や乳児への飲酒の影響を啓発しております。具体的な取組への記載漏れとなっておりましたので修正いたします。

- ⑧ 74頁(質問)「健康支援アプリの利用」が35.6%となっているとあります。ここに掲載するということは、そのニーズが高いと認識していると理解してよいですか？また、今後市としてアプリ開発も考えにあるということでしょうか？

(回答) ご意見のとおり、オンラインやアプリのニーズが来所相談よりもニーズがあるという認識です。アプリ開発までは考えておりませんが、民間の健康支援アプリを利用されている方には、民間アプリを使用した健康管理をお勧めするなど、健康相談の際に考慮していきたいと考えております。

- ⑨ 79頁(質問) 具体的にどのように取り組むかということも決まっているのでしょうか？まだ、素案の段階ですので、もちろんこれからかもしれませんが、市に相談に来た方が、そういった団体(既存や新規)のサービスを紹介されたり、団体側にもその運営に関して、市からの支援があったり、そういったコーディネートをする場所が市の仕事として出来るということでしょうか？以前、アメリカの都市で、もともとNPOとして活動していた団体を結びつけることで、市の業務の一部を団体への委託、団体側も市からの援助を受けることでより良いサービスの提供が出来るようになったという話を聞いたことがあったので、どのように推進されるのか少し気になりました。民間と市が協力して、より良い活動になれば良いと思います。

(回答) 現在も行っておりますが、例えば市には健康ちょきん運動団体がありますので、団体の活動日に職員が行き、健康教育を実施するなどの取り組みを考えております。また、市に相談に来た方には、そのような団体を紹介するなどの取り組みを行っていきたいと考えております。また、団体の運営につきましては、市の職員が年に一度健康ちょきん運動団体を

訪問し、運営を含めた相談対応としています。

- ⑩ 80頁（質問）これも素案の段階なので、具体的にはこれからなのだと思いますが、少し思いついたことがあったので、素案の内容とはあまり関係ありませんが、質問させていただきます。

印西市には、歴史を説明案内してくれるような団体はあるのでしょうか？野田市はそのようなボランティア団体があるようです。もしあれば、歴史説明&ウォーキングのような案内が出来ると良いのでは、と思いました。

（回答）市内では名所旧跡を案内する「印西ふるさと案内人協会」が活動されております。いんざい七福神巡りや木下街道膝栗毛など年間8回ほど文化遺産を巡る散策会を開催していると伺っております。

- ⑪ 81頁（質問）「また、…」以降、「食を通じて」はなくても良いのではと感じました。あるいは、「食を通じて」の代わりに、「良い食事は」とか「バランスの取れた食事は」と言った方が文章がスムーズな気がしました。（細かくて申し訳ありません）

（回答）背景につきましては、分野に対する課題が見えるように表記させていただいているため、「また・・・」以降のまたを削除し、「食を通じて個人の行動と健康状態を改善し、生活機能を維持・向上させる対策が必要です。」に改めます。

- ⑫ 93頁（質問）小中学生のむし歯・歯周疾患予防の取組内容が記載されていますが、今後フッ素洗口の予定があるかお聞きしたい（すでにフッ素洗口を実施している市があるため）。

（回答）フッ化物洗口については令和5年度から検討を始めておりますが、実施に向けては、学校の蛇口の数、ごみの量の増加、フッ化物の配布方法等課題が多く、引き続きの検討が必要な状況です。

- ⑬ 94頁（質問）最終目標値 3.5%とありますが、（最終）目標値を設けることに意味があるのか疑問です。毎年この受診率については歯科専門者会議等で報告は受けていますが常に非常に低い状態です。それもそのはずで母数をその年の対象者全員としているためで、対象者の約7割の方はかかりつけ歯科医を持って受診されているとのことですから本来はこの方々は母数から除かれるものと考えます。かかりつけ歯科医を持っているという方が必ずしも年に一度は歯科を受診（健診・治療）されているとは限りませんが、最近は痛くなったから歯科に行くというよりは口腔の管理を希望して来院される方が増えているのも事実です。そのような方々が増える方がむし歯・歯周疾患の予防に寄与するのではないのでしょうか。

口腔疾患健診事業は継続しても、受診率を上げるというよりはかかりつけ歯科医を持って少なくとも年に一度は受診しているという方の増加を目標にしてはどうでしょうか。

（回答）ご意見のとおり、かかりつけ歯科医をお持ちの方が多いのが現状です。目標値につきましては、県や他市町村と比較できる数値は健診受診率になりますのでこのままとさせていただきますが、ご意見のとおり、かかりつけ医を持つことはむし歯等の予防に効果的です。受診勧奨などの際におすすめてまいりたいと考えております。

- ⑭ 98頁（質問）一覧表はわかりやすいです。今後、その取り組みを周知徹底させるときに、例えば、毎回の広報で「第3次健康いんざい21の取り組み」のようなコーナーを設けて、より具体的にどんなことをしたらよいのか伝える等の活動を期待したいと思いました。
- この表では、「なにになにしましょう。」のように書いてあるので、そのまま理解できることも多いですが、中には、ではどうしたらよいのだろうと思う部分もあるので、例えば、ながら運動なら、こんな運動とか、ストレッチも肩が疲れたらこんなストレッチとか、食の安心安全では、食品表示を見るとか、ワンポイントアドバイスの記事があっても良いのでは、と感じました。この計画がより市民に浸透し、健康な人が多い印西市になることを期待しています。

（回答）ご意見ありがとうございます。本日、素案にご承認をいただいたのち、本計画に運動や食育などについてコラムを記載していく予定でございますので、作成の参考にさせていただきます。

（議長）：委員のみなさんからご質問はありますか。

質問がないようですので、次の議題に移ります。

議題（2）議案第2号「第2次健康いんざい21」の進捗状況（事業の実施状況）について

（事務局）：「議案第2号「第2次健康いんざい21」の進捗状況（事業の実施状況）について」資料に基づき説明。

※その後、事前質問について説明、回答

- ① 1頁（質問）今年の骨粗しょう症の健康講演について、10月16日から11月15日まで、会場に来ることが出来なかった人のための限定配信をされるようですが、登録が10月10日までとなっていました。この配信を見た方からの話を聞いて、聞いてみたいと思う方もいると思うのですが、配信登録期間を、例えば配信期間中の随時登録とかにすることはできないでしょうか？話を聞きたいと思う方に1人でも多く聞いていただけたらと思いました。今後検討していただければと思います。配信は今年初めての取り組みかと思います。今のところ配信申し込みをされた方はどのくらいいるのでしょうか？

（回答）本会議でご意見をいただきまして本年度からWEB配信をさせていただきました。本年度は8名の方からお申し込みをいただきましたところでは。

随時登録につきましては、現状、様々な問い合わせに随時対応していることから対応しきれなくなってしまう可能性があり、10月10日まで締め切りとさせていただきました。次年度以降、他の業務との兼ね合いを図りながら検討してまいります。

- ② 4頁（質問）生涯学習ガイドの発行について、発行されましたというような案内は、広報等でされているのでしょうか？（もし、されているのであれば、気が付いておらず申し訳ありません）HPでは、容易に閲覧することが出来ました。回覧板で見たような記憶もあるのですが、このような情報をまとめているというお知らせを、定期的に行っても良いのではと思いました。（その時に必要なくても、時期によって気になる方もいらっしゃるのではないかと思います）

した。)

(回答) 生涯学習ガイドは、発行した時点で市ホームページに掲載し、公民館・図書館等の市内施設に配置しております。なお、担当課は生涯学習課となっております。

いただいたご意見については生涯学習課へ申し伝えたところでございます。

- ③ 6 頁 (質問) トレーニングルームの利用案内は、ホームページのみでしょうか？ホームページは自分から調べようと思わないと、見ることがないので、広く一般に伝えるのであれば、広報等の定期的な案内もあってよいのではと感じました。(もし、すでに行っているようであれば、気がついておらず申し訳ありません)

(回答) トレーニングルームの利用案内は、市ホームページの他、松山下公園総合体育館のパンフレットやチラシに掲載しております。なお、担当課はスポーツ振興課となります。

- ④ 7 頁 (質問) いんざい健康ちょきん運動は自主グループだと思いますが、その自主グループの立ち上げ推進は、どのように行っているのでしょうか？今後の高齢者増加に向け、ますます必要な活動だと感じています。

(回答) 自主グループの立ち上げ推進は、町内会自治会等への回覧や健康講座等の際にご案内をし、職員がご相談にのっております。なお、担当課は高齢者福祉課になります。

- ⑤ 12 頁 (質問) 精神疾患に関する理解を深めることを目的としてメンタルヘルスガイドブックや相談窓口カードを配布したとあるが、だれを対象にどのような場で配布しているのか。できれば多くの必要な方にきちんと届いてほしいと思います。今まで、こういった配布から相談につながった事例は、どのくらいあるのでしょうか？どのように相談窓口を知って、相談に訪れたのか、現状が分かればお聞かせください。

(回答) メンタルヘルスガイドブックや相談窓口カードの配布は、精神的な疾患をお持ちの方やご家族、精神科への通院を検討している方々に対して、障がい福祉課の窓口や電話で問い合わせがあった際に配布をしています。また、自立支援医療制度(精神通院)の利用や精神障害者保健福祉手帳の取得を検討している方々にも配布しております。配布から相談につながった事例の数の把握はしておりませんが、障がい福祉課の窓口には心の相談に限らず、一日に 20～30 件の相談があります。

- ⑥ 14 頁 (質問) 伴走型の支援、大変だとは思いますが、核家族化の中で取りこぼしのないように今後もサポートしていただきたいと感じました。

(回答) 今後も、情報提供やサポートに努め、妊婦の不安解消や産後鬱の早期発見に努めて参ります。

- ⑦ 16 頁 (質問) 今年度の取り組みと事業計画のところで、依頼教育や情報発信をしていくとありますが、今後の企画予定等があればお聞かせください。

(回答) 例えば出前講座の「知って得する生活習慣改善術」では睡眠習慣改善のポイントをお伝えしたり、ヘルスアップ教室では、市民の皆様に配布する資料の中に、「健康づくりのため

の睡眠ガイド2023」の抜粋を記載するなどの取り組みをしています。

- ⑧ 24頁（質問）令和6年度事業計画では「口腔ケアの方法などの情報発信ができるような取り組みを検討する。」とありますが、情報発信だけでなく在宅診療を希望されている方のニーズを満たすような事業展開をお願いします。在宅診療希望の方はまずは治療を要することがほとんどですが、その後の口腔ケア等に対する支援等いかがでしょうか。

（回答）在宅診療を希望されている方につきましては、まずは介護保険担当部署と連携を図って対応していきたいと考えております。

（議長）： 委員のみなさんから他にご質問はありますか。

質問がないようですので、次の議題に移ります。

（事務局）： 「議案第3号いのち支えあういんざい自殺対策計画」の進捗状況について

※その後、事前質問について説明、回答

- ① 6頁（質問）広報・ホームページ・リーフレット・啓発ポスター等の周知の令和5年度実施状況に関する担当課の評価のところで、公共施設来所者に対しての周知に努めた、とのことで達成度が○なので、もう少し改善の余地があるとの判断だと思いますが、今後の対応として、何か考えていることはありますか？全体的に、周知に関しては、幅広くいろいろな方の意識に止まるような実施の仕方、例えば広報の頻度を増やしたり、個々人の手にリーフレットが渡ったりといったことが必要かしれないと感じました。

（回答）ご指摘いただきましたとおり、公共施設のみですと対象者が限られてしまうことから達成度○としております。今後はイベントの際の配布資料に含めるなど個人に渡るように更なる周知に努めさせて参りたいと考えております。

- ② 計画全体（質問）全体的に、担当課の評価が「できた」となっているのに、達成度が◎だったり、○だったりしています。担当者の感覚としての判断かとも思いますが、この判断の違いがあるのは、何だろうかと思いました。

（回答）ご指摘のとおり各課の判断によるもので、例えば講座を目標通りの回数実施できたとしても、参加者数が伸びなかったなど、その他の理由で評価が変わることもございまして、一概に我々でその判断基準を示せないため、各課に任せているのが現状です。

- ③ 計画全体（質問）担当課評価で「相談対応をした」と表記されているものについて、後のフォローについては、どのような対応をしているのでしょうか？相談後、解決もしくは改善していることが大切だと思うので、気になりました。

（回答）この進捗評価では、個別の事案の事後フォローまで各課に提出を求めている状況ですが、解決や改善に向けた対応は適切に行っております。

（議長）： 委員のみなさんからご質問はありますか。

質問がないようですので、次の議案に移ります。

(事務局)： 議案第4号「第2次印西市自殺対策計画」策定基本方針について
「令和5年度印西市自殺対策実績」「第2次印西市自殺対策推進計画～いのちを支え合
ういんざい自殺対策計画～策定基本方針」資料に基づき説明

(事務局)： 委員のみなさんから、ご質問はありますか。

(委員)： ちょきん運動に行くための旧いんば村等の高齢者の交通手段がないため、なにかサポ
ートできないか。

(事務局) 交通手段がない地域の方にも活動をしていただけるようにして欲しいとのご意見を、
担当課の高齢者福祉課に申し伝えます。

(事務局) 以上を持ちまして、本日の議題を終了いたします。

令和6年10月17日

印西市健康づくり推進協議会会長 岩谷 由美